

てしお

議会だより

No.175

令和3年11月24日発行

北海道
天塩町議会



啓徳小学校・雄信内保育所合同文化祭

02 決算審査特別委員会
令和2年度決算を認定

06 一般質問
町の考えを4名が問う

11 委員会調査レポート
産廃処分場の今後は



みちのこえ

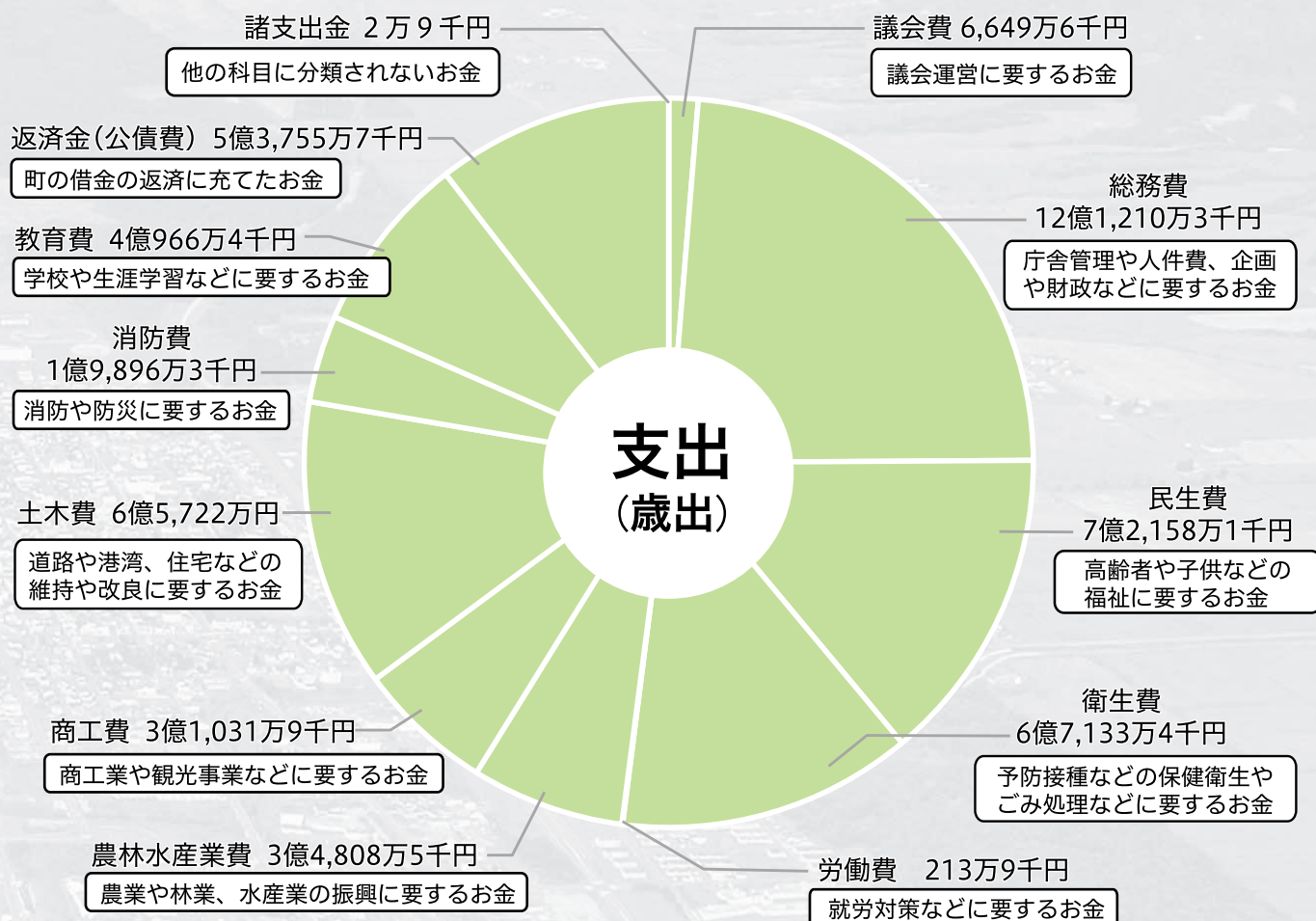
こがら児童クラブ保護者会
のみなさん



議会 HPはこちらからチェック！

認定しました

決算審査
特別委員会
9月14日～15日



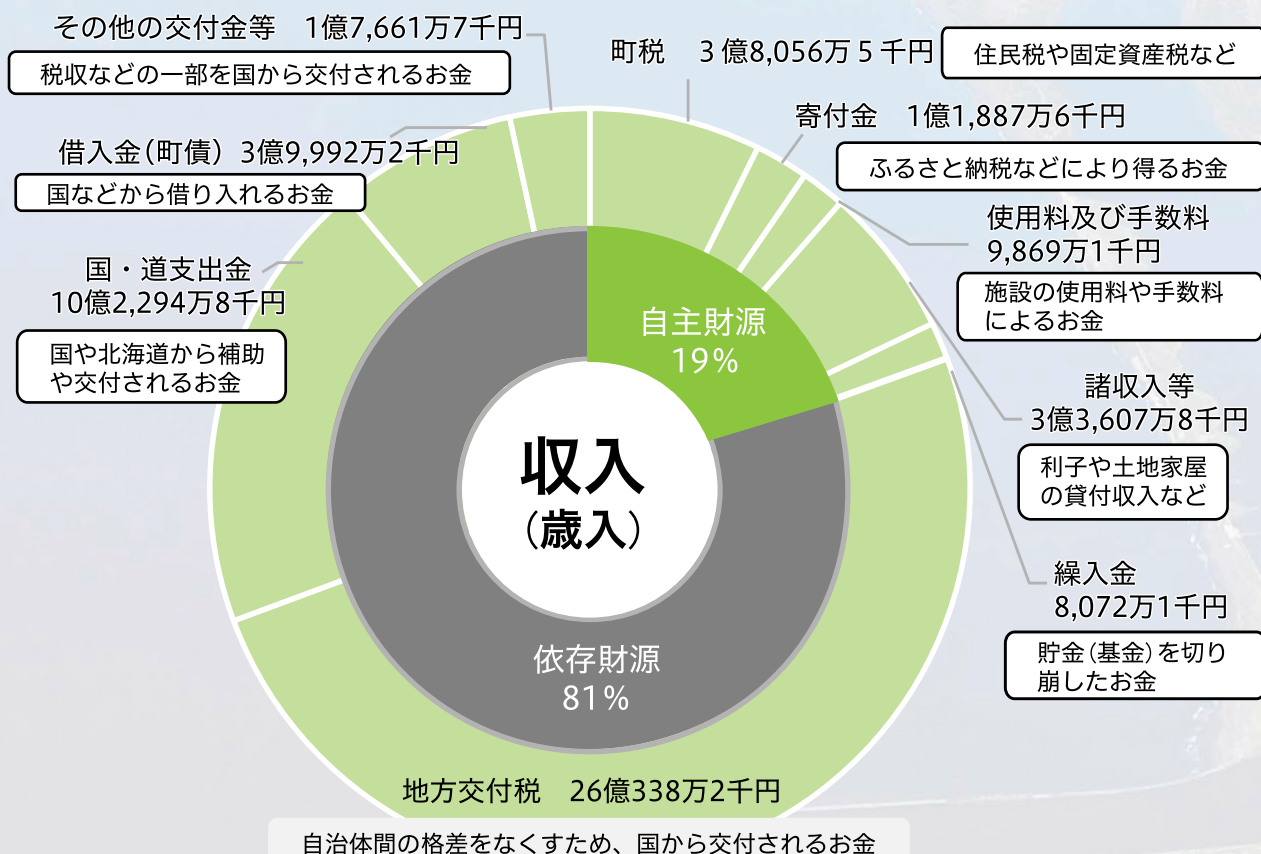
一般会計 支出(歳出)
51億3,549万円

令和2年度各会計収支(歳入・歳出)一覧 ※カッコ内は前年比

会計名	収入(歳入)	支出(歳出)	差引
一般会計	52億1,780万円【15.1%増】	51億3,549万円【15.6%増】	8,231万円
特別会計			
国民健康保険事業	4億9,608万円【6.9%増】	4億7,807万円【8.6%増】	1,801万円
病院事業(収益)	7億2,135万円【2.4%増】	7億2,135万円【2.4%増】	0円
病院事業(資本)	1億3,219万円【49.6%増】	1億3,219万円【49.6%増】	0円
水道事業	2億4,328万円【55.7%減】	2億3,747万円【56.1%減】	581万円
下水道事業	2億4,380万円【8.1%増】	2億4,190万円【8.0%増】	190万円
介護保険事業	3億3,670万円【1.0%増】	3億2,737万円【3.9%増】	933万円
介護保険サービス事業	5,869万円【6.3%減】	5,741万円【6.2%減】	128万円
後期高齢者医療	4,772万円【9.2%増】	4,752万円【9.8%増】	20万円
町民保養センター事業	1億582万円【92.2%増】	1億482万円【93.9%増】	100万円
全会計合計	76億343万円【7.8%増】	74億8,359万円【8.3%増】	1億1,984万円

令和2年度

各会計の決算を



一般会計 収入(歳入)
52億1,780万円

貯金(基金)残高の推移(財政調整基金)

平成28年度	10億2,533万円
平成29年度	7億5,583万円
平成30年度	6億3,696万円
令和元年度	6億7,697万円
令和2年度	6億7,698万円

借入金(地方債)残高の推移(一般会計)

平成28年度	44億1,820万円
平成29年度	43億3,858万円
平成30年度	43億3,701万円
令和元年度	43億4,012万円
令和2年度	43億4,828万円

町民1人あたり
約87万円の貯金

町民1人あたり
約148万円の借金

136万円



総務費

移住定住促進事業
冬期移住への活用を

山本 移住定住促進住宅を農家地区の高齢者が冬だけ市街地に来てもらうために活用できないか。

総務課長 質問にあったような用途で使うことはできると思われるますが、施設はコロナ禍のため当分閉鎖する考えです。

令和2年度 決算審査

決算審査特別委員会で行われた委員からの質疑や提言を、要約して一部お知らせします。

委員会での質問数 **35** 項目

711万円



衛生費

未来を築く子育て応援事業
事業見直しの議論は

国奥 以前より事業見直しの議論をすべきと指摘しているが、実績と協議の状況は。

福祉課長 出産準備金が23名、出産祝金を12名の方に贈っており、現在理事者を含めた内部で今後について検討を行っています。

536万円



民生費

電子図書館運用経費など
コロナ禍の利用実績は

渡辺 コロナ禍により以前より多く利用されているのではと考えるが、会員数や利用冊数の実績は。

教育長 207名が登録し、156冊の利用がありました。

想定より利用されなかったため、新年度に向けて検討を進めます。

1291万円



教育費

公設民営塾経費
塾と学校の連携は

遠藤 北海道の子どもの学力が全国より低いと報道があったが、塾と学校で連携をきちんとしているか。

教育長 塾の職員が小中学校の学習サポートなどに入り、全国テストでは国語が平均より上なので基礎はできていると思います。

1201万円



農林水産業費

森林環境譲与税基金積立金
基金を木の遊具へ

国奥 基金を木の遊具の設置など木育のために使えないかと考えるが、基金の使い道は。

農林水産課長 木材の検収システムやドロインの購入に使っており、木の遊具は対応できるのであれば計画を立てていきたいです。

第3回 定例会

9月14日～15日

補正予算ピックアップ

- 飲食業などへの支援金
- 旧塵芥処理場の解体調査費

歳出（主なもの）

病院事業特別会計繰出金	5,500 万円
飲食業など事業継続支援補助金	570 万円
旧塵芥処理場解体経費	390 万円



▲旧南川口処理場



▲旧更岸処理場

飲食業など支援ほか

8670万円追加

補正予算

一般会計

歳入歳出について、総額を47億6570万円とする補正予算案を可決しました。

質疑要旨

旧塵芥処理場

解体対象は

横山

解体経費の内容と対象となる場所は。

住民課長

解体前のアスベストやダイオキシンなどの調査委託料を計上しており、対象は更岸地区と南川口地区の2施設になります。

行政報告

○新型コロナウイルス感染症予防対策

北海道への緊急事態宣言は7月12日に解除されましたが、8月27日にまん延防止措置を経て再び発令され、9月9日には宣言期間が9月30日まで延長されました。

留萌管内での感染者数は9月10日現在で134名と発表され、6月28日からは市町村ごとの感染者数を公表しています。この公表方法以降で、天塩町に感染者の発表はありません。

ワクチン接種率（10月4日現在）

年代	2回目接種率
65歳以上	91.5%
16歳～64歳	85.4%
12歳～15歳	74.4%
全体	87.6%

新型コロナウイルス

のワクチン接種については、10月1日をもって今回の接種の全日程を終了する予定ですが、今後12歳を新たに迎える方などで接種を希望される方の対応を現在北海道と協議しているところです。

町民の皆様には引き続き新北海道スタイルのさらなる徹底をお願いし、町としても国や北海道の動きを見ながら新型コロナウイルス感染症予防対策や経済対策に最大限努めていきます。

その他

（主なもの）

○豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書

法律の特例措置延長や、豪雪地帯特有の課題への対策を求める意見書を可決しました。

○コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書

コロナ禍により厳しさを増す地方財政への対策や地方税財源の充実を求める意見書を可決しました。

○国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

防災や減災、国土強靱化に必要な予算の安定的で継続的な確保を求める意見書を可決しました。

一般質問

第3回定例会の一般質問には、4人の議員が登壇しました。
紙面の都合により、内容を要約してお知らせします。



石山 直継 議員
取付道路の対策を

7

山本 春光 議員
広域的医療の考えは

8



国奥 強 議員
公園の現状と課題

9



横山 敦 議員
ふるさと納税アップを

10



町の考えを4名が問う

一般質問とは

議員が町政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況
および方針等について所信や疑問などを問いただすことです。

一般質問

石山直継 議員

取付道路の対策を

町長 全体での対策を進めたい



現状への考えは

近年の酪農では機械の大型化が進み、労働条件の改善や省力化が進んでいるが、大型機械で効率よく作業するには現状の取付道路では狭く、脱輪などの事故につながる恐れがあると考えられる。

この現状を当事者から町へ改善できないかと相談しようだが回答を得られず今に至ると聞いていることから次の2点を伺う。



▲大型化により作業の効率化が進む

①大型機械が取付道路から脱輪する恐れがある現状をどのように考えているのか。
②もし取付道路の現状を改善していく方向で考えているのであれば、国道や道道を管理する国や北海道に対して要請を行うべきではないか。

町長 ①町道や農道を新設する場合は機械の大型化に対応した設置が可能ですが、既にある取付道路については元の形で復旧が原則となるため、既にある幅以上の対応は難しいです。
また、町の政策として改善を行う場合も、町内の農業者全体を対象に、費用対効果やどこを行くかの優先順位づけ、そして財源対策などを十分見定めながら事故のないような取付道路のあり方や利用について検討していきたいです。
②国や北海道の現在の補助事業では取付道路を対象としたものがな

YouTubeはこちら



いことから、今後の事業の創設を見定めていくとともに、この課題は全道・全国的なものと思われることから国や北海道への要請を検討したいです。

建設課長

①すでにある取り付け道路を拡幅するなどの相談があれば法律に規定されている申請書を道路管理者に提出していただき、申請者の負担で行ってもらいます。

道路の整備については町道や農道の新設や改良などで取付道路を含む工事であれば、限度はありますが対応することができません。

行政の早い対策を

①取付道路に対する調査をすべきと考えるかどうか。

②町内全体が整備の対象になると答弁があっ



▲道路と草地などを結ぶ取付道路

たが、必要な場所だけ行えばよいと考えるかどうか。

③緊急時など何かあった際は、町長の特に認めた場合という権限がある。

農家より要請があった際には行政として早く手を打つべきであり、今後の基幹産業に對して行っていくべきと考えるかどうか。

町長

①担当課に道路用地の幅や車両に作業機が付いた場合の旋回角度な

どの調査を指示しています。

②③行政の立場では要請があったところだけという形には一般的にはなりにくく、緊急性といった議論について調査を含めて対応しなければならず、農業者全般の公平性や総意といった背景がなければ事業化は困難だと思います。

町長が特に認めた場合とは議会のみなさんも含めた町として全般に認めたということであり、私個人が認めて事業を行わせることは決してあってはいけません、そのようなことは絶対にしません。

そんな背景のなかで、町全体の議論として全道の道路関係の対策を進めていきたいと考えています。

山本春光 議員

広域的医療の考えは

町長 行いたい話す場がない



町政の進捗状況は

町政執行方針や公約で町長のスローガンともいえる「新・新天地天塩」、そして、しじみの里再生のかじ取りを担っていくとの決意に立たれ、次の5項目について町政を進めてきたと考えるが、その進捗状況は。

①安心して暮らせるまちづくり
「内科医の確保」
②町民に寄り添う役場づくり「相談窓口」

③高校の魅力づくり「未来のステージ」
④農林漁業・商工観光の基盤づくり
⑤暮らしの利便作り「交通・安心」

町長

①求人掲載や医師派遣の要請、医師紹介会社との委託契約を行っていますが確保には至らず、今後も内科医を含めた常勤医の複数確保に努めます。

②町民相談室を開設し令和2年度は11件の相談がありました。

相談内容は公営住宅や介護にかかる福祉関係などさまざまであり、今後も引き続き取り組んでいきます。

③いままでの対策に加

YouTube はこちら



▲出納室となりに設置された相談室



▲商品化に取り組む天塩産和牛

るほか、地域資源開発交流施設を整備し、天塩産品に付加価値をつけて一次産業の後押しやふるさと納税の返礼品に向けて和牛の取り組みを行っています。

商工観光では道の駅が振興拠点となるような取り組みのほか、地域の経済力向上を目指した取り組みを進めています。

⑤地域公共交通計画の策定に着手し、今年度は町に何が必要なのかの洗い出しなどを行い、来年度に必要な対策を行います。

広域的医療を

国道40号線の縦貫道路整備をはじめとした各種期成会や、西天北五町衛生施設組合のようないくつかの町とさまざまな観点からまちづくりについての意見交換ができる環境にあると考えており、その観点を広域的医療としてできないかと考える。

町立病院は現在常勤医一人体制であり医師の負担が大きいことから、近隣の町の首長にそれぞれの医療機関の代表を含めて話をしながら、他の町から内科が来て診察していただく、または整形外科が他の町に行つて診察するようになることはできないか。

町長

病院運営委員会にて病院長からは、常勤医が2名いれば近隣の町へ



▲常勤医の複数確保に取り組む町立病院

の整形外科の出張診療ができますという話がありました。

その話の実現のためにも、内科医にこだわらず病院を守るための常勤医をプラス1名確保しながら、出張診療や看取りの医療など他の町ではできない医療を近隣連携として実施したいですが、近隣の町の首長たちでそのような話をするような場がほばないというのが現状です。

国奥 強議員

公園の現状と課題

町長 河川公園をなんとかしたい



遊具の管理状況は

や遊び場づくりを進めてほしいと考えることから次の3点を伺う。
① 町が設置する公園や広場の数、遊具設備の有無や管理状況は。

② 公園施設のまちづくり策としての位置づけは。
③ 子育て支援策の観点から遊具のある屋内施設整備の考えは。

YouTubeはこちら



町長

① 14か所あり、このうち9か所に遊具を設置しています。

② 住民の憩いの場やイベント会場、災害時の避難場所など日常や非日常によって変わる役割に対応できる場として地域に必要なものだと考えます。

③ メインは総合計画にある複合交流施設ですが、役場庁舎の耐震化を優先するため、来年度には施設の青写真まで作りたいと考えており、複合交流施設ができるまでは既存の施設で子どもたちが遊んだりできないか内部検討を行っています。

今後のあり方は

① 鏡沼海浜公園の遊具の一部を老朽化により撤去したようだが、この公園の今後のあり方についてどのように考えているのか。

② 前回の一般質問で河川公園について物販や食事の提供を含めた活用策を議論し、また、天塩川の活用のため国に對して要望していると回答があったが現在の状況は。



▲安全で楽しめる河川公園へ

町長

① 運動広場の一部の遊具と温泉からのローラー滑り台を撤去しました。

撤去後の設置は1千万円単位の費用がかかり、財源対応がないことから現在の財政状況ではできないと考えています。

② 河川公園や鏡沼、港湾などはすべて河川区域

公園は遊びや運動、防災などの機能を持つ憩いの場所であり、親子で楽しめることから子育てにも大切なものである。

議会広報特別委員会で住民団体へ取材をした際には、「子どもを外で遊ばせたいが遊具がなく、散歩だけで帰ってきている」という声があった。

町民のみなさんに望まれ、親しまれる公園

天塩町内の公園や広場

広さ	場 所 数
3千㎡以上	8か所（鏡沼海浜公園、河川公園など）
3千㎡以下	6か所（公営住宅敷地内の公園など）

※遊具設備があるのは9か所（スポーツセンター前公園など）



副町長

① 遊具の点検は基本的に業者に委託しており、遊具が少ない公園などでは職員が1か月や2か月に1回の頻度で定期的に点検しています。

副町長

本設の設備は敷地管理問題を含めてなかなか難しい状況にあることを背景に、市街地隣接の河川公園をなんとかしたいということで、国と協議を重ねながら前向きに考えていきたいです。

横山 敦議員

ふるさと納税アップを

町長 協力隊の登用も検討



寄附獲得の戦略は

ふるさと納税制度は還元率を3割以下にすることや地場産品以外を返礼品にしないなどの制度改正を経て、いまやなくてはならない重要な制度である。

当町では庁舎耐震化など防災や維持管理にかかる経費に予算の割り当てを強いられ、おり政策予算の編成が難しく、また、各種基金も通常予算では取り崩さなければならぬこと

から、基金の枯渇が心配される。

今年度はふるさと応援寄附金を1億円として予算計上しているが、これを最低目標としてさらに多くの寄付をいただくための努力と戦略が必要なことから次の3点を伺う。

①ふるさと応援寄附金から返礼品やポータルサイト利用料、送料などの経費を差し引くと実質何割残るのか。

②企業版ふるさと納税を活用するためには計画を作成し、国からの認定が必要であるが、当町は認定を受けているのか。

③ふるさと応援寄附金を獲得するための具体的な戦略は。

YouTubeはこちら



町長

①令和2年度決算では約6割が経費を占めており、ふるさと応援寄附金は実質として4割程度の4700万円が残ります。

②8月の認定申請受付に合わせ、国へ提出しており、申請の結果は11月上旬をめどに通知される予定です。

申請内容は第2期地方創生総合戦略に位置付けられた地方創生に資する事業を対象としたものになります。

③寄附の99%がポータルサイトからであり、その特性を活かすためにサイトの閲覧数や転換率、寄附単価の3つの数値のいずれかを上昇させる戦略が必要と考えます。

サイトの閲覧数は新規ポータルサイトの開拓やインターネット広告によるPR規模の拡大、転換率は地域資源開発交流施設（加工施設）を軸とした新規返礼品の開発、寄附単価は既存の返礼品の単価を基本的に据え置く形にすることを考えています。

募集条件の追加を

多くの寄附を集めている自治体では情報をSNS（会員制交流サイト）などで発信することやリピート納税に近づけている。

また、新規返礼品の開発に力を入れなければいけないが、現在の加工施設での特産品開発では通常業務との兼務で限界があることから、専門部署の配置や将来的な民間企業への橋渡しをするための人的な支援が必要ではないかと考える。

そこで地域おこし協力隊をふるさと納税担当、食品加工担当など業務を明確にして現在の隊員と別枠で新たに募集すること、任期後も当町に残り起業をしてもらい、町の自主財源も確保できると考えるかどうか。

町長

地域おこし協力隊は9月現在で1名が在籍しており、10月に1名が採用されるほか、現在面接をしている方もいます。

協力隊の募集については返礼品や加工品開発といったあたりも条件に追加することなどの検討をしたいと思います。情報発信についてはふるさと納税や特産品開発を含めてまだまだ弱いと思っているので、どう動いているかについて十分発信できるようにしたいです。



▲ふるさと納税戦略を

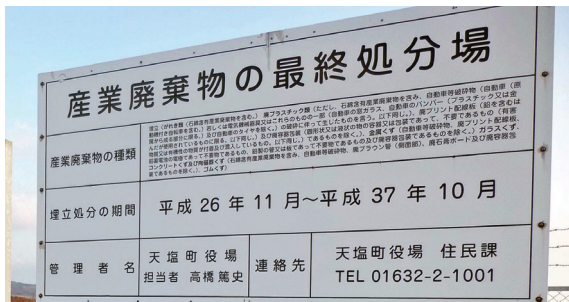
委員会調査レポート

総務文教常任委員会

8月2日

安定型産業廃棄物最終処分場

民間企業の活用や町外からの受入れの検討を



産業廃棄物最終処分場は、本会議などで町長より「将来に向けて今後の維持管理は難しいと判断し、閉鎖する方向である」と答弁があり、令和2年度より現在まで休止状態にあります。

このことから、現在の処理場の状況や今後の詳細な方向性について調査を行いました。

調査結果

今後の方針案	想定収支
現状の体制を維持 (満杯まで200年以上)	▲7億3,500万円
料金見直し・町外受入 (満杯まで15年程度)	▲2,600万円
施設を完全閉鎖 (手続きに3年)	▲900万円



平成24年度に町内団体からの要望を受け、平成26年12月より安定型の最終処分場として運用を開始したが、受入れ容量はわずか1,537m³で総容量のわずか1割程度しか利用されておりません。

しかし、町は今後の方針案(上表参照)のうち、町外からの産業廃棄物は受入れ難いため、「施設を完全閉鎖」する方向で進めたいと考えています。

質疑

草刈 処理場を民間企業や産業団体などに譲渡や委託をすることはできないか。

町長 国や北海道の厳しい基準があり難しいと思われませんが、可能かどうかについて詳細を調査していきたいです。

横山 町が運営するのは難しいため、建設を要望された団体や利用者との有効利用のための意見交換をしてはどうか。

町長 法律や北海道との進め方を十分調整しながら、有効利用のための意見交換を本年度中に行いたいと考えています。

調査意見

利用状況が少なく、管理費に多額の経費がかかるなど財政上の問題もあることから、このまま町が直接運営をすることは難しいと考えられるが、今後有効的な施設利用が行えるよう、処理場建設を要望された団体や利用者との意見交換や施設運用における情報収集などを行い、町の負担が少なく町民に理解してもらえる方針を示してほしい。



表紙の写真「啓徳小学校・雄信内保育所合同文化祭」 啓徳小学校

10月9日に啓徳小学校・雄信内保育所合同文化祭がオンライン配信などの感染症対策を行いながら開かれました。

「～団結～15人で協力 素晴らしい舞台をとどけよう」をテーマに全校生徒による大迫力の「啓徳ソーラン」や、園児たちによるお遊戯「まほうのとびら」など踊りや劇、演奏が行われて楽しい1日となりました。



今回はこがら児童クラブ保護者会のみなさん



Q. 子育てで感じる地域の課題や疑問は？

A こがら児童クラブに通う児童の数が年々多くなり、支援員の負担が増えているので職員の募集をするなど負担の軽減をしてほしいです。

また、クラブで使っている場所の近くにある階段や暗いトイレの対策、具合が悪い子が安静に休める場所もほしいです。

Q. 将来のまちづくりに望むことは？

A 人間関係が希薄になってきているので、地域で子どもたちを見守る仕組みづくりや、子どもや地域のみなさんが集まれる場所が出来たらと思います。

自分が住むまちの良いところを知る機会がたくさんあると、大人になったときに戻ってきたいと感じるようになると思います。

Q. 議会や議会だより どうですか？

A 議会は堅苦しいイメージがありましたが、今回のように気軽に話せる機会があると良いと思います。

YouTubeはライブ中継や全員協議会など他の会議を取り上げてほしいです。

議会だよりはカラーページや子どもの写真で若い人も目について良いと思います。

この取材の詳しい内容は HP に掲載しています。

天塩町議会 |

検索

議会を傍聴しませんか？

第4回定例会は



12月16日～17日の予定です。

一般質問は16日に行う予定です。

質問者・内容はホームページやLINEに掲載します。



LINEに公式アカウントを開いています。
議会の情報を発信していますのでぜひご登録ください。

YouTube



動画配信サイトYouTubeで本会議の録画配信をしています。
チャンネル登録をお願いします。



町民相談コーナーを開設しています。ご相談がある方はお気軽に議会事務局まで問い合わせ下さい。